

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2001-139942(P2001-139942A)

【公開日】平成13年5月22日(2001.5.22)

【出願番号】特願2000-224692(P2000-224692)

【国際特許分類】

C 0 9 K 11/64 (2006.01)

C 0 1 F 7/16 (2006.01)

C 0 1 F 11/02 (2006.01)

C 0 1 G 15/00 (2006.01)

C 0 1 G 45/00 (2006.01)

C 0 9 K 11/08 (2006.01)

C 0 9 K 11/55 (2006.01)

C 0 9 K 11/62 (2006.01)

C 0 9 K 11/63 (2006.01)

C 3 0 B 29/22 (2006.01)

G 0 1 T 1/202 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 11/64 C P M

C 0 1 F 7/16

C 0 1 F 11/02 Z

C 0 1 G 15/00 D

C 0 1 G 45/00

C 0 9 K 11/08 B

C 0 9 K 11/55 C P B

C 0 9 K 11/62 C P N

C 0 9 K 11/63 C P K

C 3 0 B 29/22 A

G 0 1 T 1/202

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月20日(2007.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 式 $(Sr_{1-m-q-r-t}Ce_mPr_qGd_rTb_t)(Al_{12-e-g}Mg_eMn_g)O_{19}$  (式中、 $0 \leq m \leq 1$ 、 $0 \leq q \leq 1$ 、 $0 \leq r \leq 0.5$ 、 $0 \leq t \leq 0.5$ 、 $0 \leq e \leq 0.5$ 、かつ $0 < g \leq 0.5$ 、但し、mとqは共に0とならない、である)によって表わされる組成物。

【請求項2】 Mnが+2価の状態にある賦活剤イオンを成す請求項1記載の組成物。

【請求項3】 式 $(Sr_{0.5}Ce_{0.3}Gd_{0.1}Tb_{0.1})(Al_{11.5}Mg_{0.25}Mn_{0.25})O_{19}$ によって表わされる請求項1記載の組成物。

【請求項4】 式 $(Sr_{0.5}Ce_{0.15}Pr_{0.15}Gd_{0.1}Tb_{0.1})(Al_{11.5}Mg_{0.25}Mn_{0.25})O_{19}$ によって表わされる請求項1記載の組成物。

【請求項5】 式 $(Sr_{0.5}Ce_{0.15}Pr_{0.15}Gd_{0.1}Tb_{0.1})(Al_{11.75}Mn_{0.25})O_{19}$ に

よって表わされる請求項 1 記載の組成物。

【請求項 6】 ランプ、陰極線管、プラズマディスプレイ装置、液晶ディスプレイ、レーザ、電磁熱量計、ガンマ線カメラ又は計算器断層撮影スキャナの一部を成す発光装置であって、

請求項 1 記載の組成物を含む発光装置。

【請求項 7】 ハウジング、前記ハウジング内に収容されたエネルギー媒体供給源、及び前記ハウジングの内部に収容された発光材料を含んでいて、前記発光材料が式



(式中、 $0 \leq m \leq 1$ 、 $0 \leq q \leq 1$ 、 $0 \leq r \leq 0.5$ 、 $0 \leq t \leq 0.5$ 、 $0 \leq e \leq 0.5$ 、かつ  $0 < g \leq 0.5$ 、但し、 $m$  と  $q$  は共に 0 とならない、である) によって表わされるものであることを特徴とする発光装置。

【請求項 8】 ストロンチウム、アルミニウム、マンガン、並びにガリウム、バリウム、カルシウム、ホウ素、マグネシウム、セリウム、プラセオジウム、ガドリニウム及びテルビウムのうちの少なくとも 1 種の酸化物、炭酸塩、水酸化物、硝酸塩又はシュウ酸塩を混合する工程と、

こうして得られた混合物を加熱して蛍光体を生成させる工程と

を含むことを特徴とする請求項 1 記載の組成物を含む蛍光体の製造方法。

【請求項 9】 ストロンチウム、アルミニウム、酸素、マンガン、並びにマグネシウム、ガリウム、バリウム、カルシウム、ホウ素、セリウム、プラセオジウム、ガドリニウム及びテルビウムのうちの少なくとも 1 種から成る融液に接触させて単結晶の種晶を配置する工程と、

前記種晶を高温域から低温域に移動させる工程と、前記種晶に接触した状態で単結晶シンチレータを生成させる工程とを含む、請求項 1 記載の組成物を含むシンチレータの製造方法。